

近畿・北陸地区研究会

企画委員会主催

企画委員会の近畿・北陸地区が、2月28日(土)に園田学園女子大学で開催された情報コミュニケーション学会第6回全国大会の企画セッションを共催して、「新学習指導要領において、教科「情報」をどう教えるべきか」をテーマに、パネルディスカッションとワークショップを開催した。

パネルディスカッションでは、まず鹿野利春先生(石川県立金沢泉丘高校)から「小中高の接続を考えた高校での情報モラル教育の取り扱い」を題材に、いくつかの問題提起があり、約35人の参加者全員が3つに別れてグループ討論を行った。

次に、佐藤万寿美先生(兵庫県立西宮今津高校)が「実施する側の立場から見た新学習指導要領」を題材に問題提起を行い、同様に参加者全員でグループ討論を行った。討論の結果は相互に発表し合い、グループ間で問題意識の共有を行った。

後半の90分は、兵庫県立神戸甲北高校の山上通恵先生が、ご自身で開発された「パズルの解法を利用したプログラミングの基礎学習」を題材にワークショップを実施した。このワークショップには、25人程度が参加し、実際にコンピュータを用いて指導方法を体験した。